

事業番号	132
------	-----

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	高齢者世話付住宅援助員派遣事業				担当部	健康福祉部				
	会計区分	一般会計		事業類型	一般	担当課	地域福祉課				
	事業期間	平成12年度以前		～	平成30年度以降		担当係	長寿福祉係			
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		8 高齢者福祉		2 高齢者の在宅生活を支援します				
		副目的									
	予算区分	款	3	項	2	目	1	大	3	中	6
	根拠法令・個別計画	小牧市高齢者世話付住宅生活援助員派遣事業運営要綱									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	高齢者が自立して安全で快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援を図る。									
	内容 (手段)	<p>高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活を支援する。 事業は、(福)小牧市社会福祉協議会へ委託する。</p> <p>事務事業:新規入居者に対する事務、現況調査及び手数料算定事務、手数料の収納事務、生活援助員との連絡調整、委託料の支払事務</p> <p>◆25年度直接経費の内訳 生活援助員派遣委託料 10,078千円 (一般財源以外の財源) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料 117千円</p> <p>◆26年度直接経費の内訳 生活援助員派遣委託料 10,717千円 (一般財源以外の財源) 高齢者世話付住宅生活援助員派遣手数料 157千円</p>									
	受益者負担	有	小牧市使用料及び手数料条例に基づき、サービスに対する負担として、1月につき4,900円以内で所得税額に応じ市長が定める額。								

コスト			単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額
	費用	直接経費		千円	9,188	10,182	10,078
正職員		従事者数	人	0.05	0.05	0.05	0.05
		人件費	千円	263	263	263	263
その他職員		従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
		人件費	千円	0	0	0	0
費用合計		千円	9,451	10,445	10,341	10,980	
対前年比		%		110.5	99.0	106.1	
財源	一般財源		千円	9,255	10,344	10,224	10,823
	国・県支出金		千円	0	0	0	0
	その他財源		千円	196	101	117	157

業 績	活動指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	派遣世帯数	世帯	目標	54	54	54	54
			実績	52	51	51	
			目標				
			実績				
			目標				
			実績				
	成果指標名		単位	H23	H24	H25	H26
	派遣日数	日	目標	243	243	243	244
			実績	248	245	244	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成25年度の実施結果		
	事業の達成状況	高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対し生活援助員を派遣し、生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスを提供し、在宅生活の支援が図られている。 派遣世帯、派遣日数共に全世帯に派遣達成できた。	
	事業実施における課題	現在社会福祉協議会に委託をしているが、社会福祉協議会の正規職員が訪問専門担当をしており、その担当が継続するため、年々委託料(人件費)があがっている。	
	事業を縮小・廃止したときの影響	高齢者世話付住宅(シルバーハウジング)の入居者に対して、きめ細かい生活指導・相談、安否の確認、緊急時の対応等のサービスが提供できない。	
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等) 委託先に人件費の引き下げできるよう人件費の安い職員への切替を検討していただくよう打合せを行っていく。	
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)
	判定理由	今後の高齢社会において、住み慣れた地域社会の中で引き続き生活することを支援する必要があるため。	
	27年度以降の改善案	引き続き、仕組みの知識向上を図り、居住をしている高齢者の見守りを続けていく。	

二次評価	方向性の判定	判定理由
	縮小	社会福祉協議会と協議を行い、生活援助員派遣委託料の削減に取り組むこと。